

## 令和2年度奈良女子大学学長選考の実施について（公示）

奈良女子大学は昭和24年に発足して以来、「女子の最高教育機関として、広く知識を授けるとともに、専門の学術文化を教授、研究し、その能力を展開させるとともに、学術の理論及び応用を教授、研究し、その深奥を究めて、文化の進展に寄与すること」を目的として教育研究活動を行い、実績を積み重ねて来ている。さらに、時と社会の変化に柔軟に対応することも重要と考え、平成12年には次のような「基本理念」を制定し、新たな歩みを始めている。

- 理念1 男女共同参画社会をリードする人材の育成  
—女性の能力発現をはかり情報発信する大学へ—
- 理念2 教養教育、基礎教育の充実と専門教育の高度化
- 理念3 高度な基礎研究と学際研究の追究
- 理念4 開かれた大学  
—国際交流の推進と地域・社会への貢献—

そして今再び、大学を取り巻く環境の激変に遭遇し、本学もまた「一法人複数大学制」に基づく奈良教育大学との法人統合、及びそれを機とした、奈良県に立地する他の高等教育機関、研究機関、さらには関西文化学術研究都市に立地する研究諸機関等との連携により、高等教育の新たな総合化「奈良カレッジズ（仮称）」を目指すことによって、その激動を乗り越えようとしている。

そこで、国立大学法人奈良女子大学学長選考会議は、令和3年3月31日をもって現学長の任期が満了するため、令和2年度に実施する学長選考にあたり、学長選考基準とともに選考手続きを次のとおり定め、公示する。

次期学長の任期は、令和3年4月1日から令和7年3月31日までの4年間とする。なお、国立大学法人奈良女子大学が法人統合により名称変更、統合または廃止となる場合、次期学長の任期は、国立大学法人奈良女子大学存続の末日までとする。

### 1. 学長選考基準

学長選考会議は、以下に定める学長に求められる資質・能力をもって学長選考基準とする。選考にあたっては、学長に求められる資質・能力について、卓越した意志と能力を有すると学長選考会議が認める者を学長候補者として選考する。

#### 【学長に求められる資質・能力】

前文における本学設立の目的並びに基本理念を踏まえて、

- (1) 人格が高潔で、学識に優れ、かつ、大学における教育研究活動、社会貢献、国際交

流を適切かつ効果的に運営する意志と能力を有すること。

- (2) 国立女子大学の最高責任者として、大学の存在意義を高めるために、目標と戦略を策定し、その実現に向けて、その経営、管理、運営に適切な判断を行い、強いリーダーシップを発揮する意志と能力を有すること。
- (3) 令和4年4月に実施予定の、「一法人複数大学制」に基づく奈良教育大学との法人統合、及び工学部設置に向けて、真摯に取り組み、それらを完遂する意志と能力を有すること。
- (4) 上記法人統合を実現し、さらにはそれを機とした、奈良県に立地する他の高等教育機関、研究機関、さらには関西文化学術研究都市に立地する研究諸機関との連携による、高等教育の新たな総合化「奈良カレッジズ（仮称）」を目指して、これら関係機関との間に、強固な信頼関係を築き、「奈良カレッジズ（仮称）」を着実に推進する意志と能力を有すること。

## 2. 選考手続き

### (1) 選考方法

- 1) 学長候補適任者の推薦は、公示の日現在における以下に掲げる者（以下「推薦資格者」という。）が行うことができるものとする。なお、下記2.（2）2）に定める推薦期間最終日において推薦資格者でなくなった場合は、その推薦は無効となる。  
学長選考会議は、推薦資格者に対し、学長候補適任者推薦書（別記様式1）（以下「推薦書」という。）により、学長候補適任者の推薦を行うべき旨を求めるものとする。なお、推薦資格者のうち以下の②に掲げる者（以下「職員資格者」という。）は、推薦書毎に、自己が推薦する者と同一の者を学長候補適任者として推薦する意思を有する19名以上の職員資格者（以下「賛同者」という。）の賛同を得た上で推薦を行わなければならない。この場合において、一の学長候補適任者の推薦を行う者（以下「推薦者」という。）又は賛同者となった者は、他の推薦者又は賛同者になることはできないものとする。なお、推薦資格者は自らを推薦することはできない。

①学長選考会議委員、学長

②理事、常時勤務する職員（国立大学法人奈良女子大学職員就業規則、国立大学法人奈良女子大学外国人教師の取扱要項及び国立大学法人奈良女子大学再雇用職員就業規則の適用を受ける者並びに特任教員のうち国立大学法人奈良女子大学非常勤職員（定時勤務職員）就業規則の適用を受ける者。ただし代替職員は除く。）

### 2) 推薦方法は次のとおりとする。

- ① 推薦者は、学長候補適任者として推薦する者から学長候補適任者調書（別記様式2）、学長候補適任者の所信（別記様式3）及び同意書（別記様式4）（以下「添付書類」という。）を徴し、推薦書に添えて自らが学長選考会議に提出す

る。なお、当該推薦者が職員資格者である場合にあっては、賛同者一覧（別記様式5）を推薦書に添えて提出する。

- ② 賛同者は、推薦賛同書（別記様式6）（以下「賛同書」という。）のみ各自が学長選考会議に提出する。ただし、賛同書の所定欄に添付書類を学長選考会議に提出する推薦者の氏名を記入するものとする。
- ③ 学長候補適任者として推薦を受ける者は、添付書類を作成し、推薦者に提出する。
- ④ ③は1人の推薦者への提出で足りるものとし、別の推薦者からの推薦を受ける場合は先に推薦を受けた推薦者に提出する旨を伝え、再度の作成は要しない。
- ⑤ 添付書類を学長選考会議に提出する推薦者以外の推薦者は、推薦書（なお、当該推薦者が職員資格者である場合にあっては、推薦書及び賛同者一覧）のみ学長選考会議に提出するものとする。ただし、推薦書の所定欄に添付書類を学長選考会議に提出する推薦者の氏名を記入するものとする。

3) 学長選考会議は、上記2. (1) 1) により推薦資格者から推薦を受けた者の人数を公表する。

4) 学長選考会議は、上記2. (1) 1) により推薦資格者から推薦を受けた者の中から学長候補適任者を原則として5名以内選考する。選考された学長候補適任者の氏名、学長候補適任者調書（別記様式2）及び学長候補適任者の所信（別記様式3）は公表する。なお、学長選考会議は、推薦者の数又は推薦者が職員資格者である場合における賛同者の数の多寡にかかわらず、当該推薦を受けた者が上記1. に定める学長選考基準に照らして適任であるか否かという観点から学長候補適任者の選考を行うものとする。

5) 学長選考会議は、選考した学長候補適任者への面談を実施する。

6) 学長選考会議は、上記5) の面談結果を踏まえて学長候補者を選考し、学長就任承諾書並びに誓約書（別記様式7）の提出を受け意思確認を行う。なお、学長選考会議は、推薦者の数又は推薦者が職員資格者である場合における賛同者の数の多寡にかかわらず、学長候補適任者が上記1. に定める学長選考基準に照らして適任であるか否かという観点から学長候補者の選考を行うものとする。

7) 学長選考会議は、学長候補者選考結果・選考理由・選考過程を可及的速やかに公表する。

(2) 選考日程

- 1) 学長候補適任者推薦の公示 【令和2年9月28日(月)】
- 2) 学長候補適任者の推薦期間並びに推薦書、賛同書等の提出先  
推薦期間：【令和2年10月22日(木)～11月5日(木)17時】  
提出先：総務・企画課総務係
  - ・提出先に各自が持参すること。
  - ・総務係において推薦資格者名簿により受付(添付書類の確認等)をするので、職員証を携行し、担当者に提示すること。
  - ・総務係から、学長候補適任者として推薦を受けた者に添付書類を受領した確認メールを送信する。
  - ・推薦に必要な様式データは、本学学長選考会議ページ(<http://www.nara-wu.ac.jp/nwu/intro/institute/gijiroku/senko/index.html>)からダウンロードしてください。
- 3) 学長候補適任者の選考 【令和2年11月16日(月)】
  - ・学長選考会議は、推薦資格者から推薦を受けた者の中から学長候補適任者を選考する。
- 4) 学長候補適任者への面談 【令和2年11月27日(金)及び12月4日(金)】
- 5) 学長候補者の選考・決定 【令和2年12月11日(金)】
  - ・学長選考会議による選考

令和2年9月28日

国立大学法人奈良女子大学学長選考会議

学長候補適任者推薦書

国立大学法人奈良女子大学  
学長選考会議議長 殿

私は、本人の同意を得て、下記の者を国立大学法人奈良女子大学学長候補適任者として、関係書類を添えて推薦します。

記

学長候補適任者氏名

---

令和 年 月 日

推薦者氏名（自署）

---

印

他の推薦者から添付書類が提出される場合はその推薦者の氏名を記入すること。

添付書類は\_\_\_\_\_の推薦書に添付されている。

## 国立大学法人奈良女子大学学長候補適任者調書

氏名 (ふりがな)		
生年月日		
現(元)職名		
学位		
専門分野		
略歴 (最終学歴からのもの)	年月	
主な業績	(教育に関する業績)  (研究に関する業績)  (経営・管理運営に関する業績)  (その他の業績)	

※2枚以内にまとめてください。

※本調書は、国立大学法人奈良女子大学学長選考のために使用するもので、公表します。

国立大学法人奈良女子大学学長候補適任者の所信

氏名（自署）

- ※学長に求められる資質・能力をふまえ、（１）～（４）の各項目に対する具体的な構想を全体で４０００字程度で記入してください。
- ※本様式は、国立大学法人奈良女子大学学長選考のために使用するもので、公表します。

同 意 書

国立大学法人奈良女子大学  
学長選考会議議長 殿

私は、国立大学法人奈良女子大学学長候補者となることに同意します。

令和 年 月 日

氏名（自署）

㊟

連絡先

住所：

電話：

メールアドレス：



## 賛 同 者 一 覧

学長候補適任者氏名  
\_\_\_\_\_推薦者氏名  
\_\_\_\_\_

番号	氏名	番号	氏名
1		11	
2		12	
3		13	
4		14	
5		15	
6		16	
7		17	
8		18	
9		19	
10		20	

※賛同者が多い場合は、本用紙をコピーして利用してください。

※推薦者自身の氏名は枠内に記載しないでください。

※学長選考会議委員、学長が学長候補適任者の推薦を行う場合は、本様式の提出は不要です。

推 薦 賛 同 書

国立大学法人奈良女子大学  
学長選考会議議長 殿

私は、下記の者を国立大学法人奈良女子大学学長候補適任者として推薦者が推薦することに賛同します。

記

学長候補適任者氏名

\_\_\_\_\_

推薦者氏名

\_\_\_\_\_

令和 年 月 日

賛同者氏名（自署）

\_\_\_\_\_ (印)

学長就任承諾書並びに誓約書

令和 年 月 日

国立大学法人奈良女子大学  
学長選考会議議長 殿

氏名（自署）

\_\_\_\_\_ 印

国立大学法人奈良女子大学の次期学長に就任することを承諾いたします。  
また就任にあたっては、学長選考基準に定める「学長に求められる資質・能力」に基づき、下記について誓約します。

記

- (1) 大学における教育研究活動、社会貢献、国際交流を適切かつ効果的に運営します。
- (2) 国立女子大学の最高責任者として、大学の存在意義を高めるために、目標と戦略を策定し、その実現に向けて、その経営、管理、運営に適切な判断を行い、強いリーダーシップを発揮します。
- (3) 令和4年4月に実施予定の、「一法人複数大学制」に基づく奈良教育大学との法人統合、及び工学部設置に向けて、真摯に取り組み、それらを完遂します。
- (4) 上記法人統合を実現し、さらにはそれを機とした、奈良県に立地する他の高等教育機関、研究機関、さらには関西文化学術研究都市に立地する研究諸機関との連携による、高等教育の新たな総合化「奈良カレッジズ（仮称）」を目指して、これら関係機関との間に、強固な信頼関係を築き、「奈良カレッジズ（仮称）」を着実に推進します。